

| | | |
|--|---|----------------------|
| 〔科目名〕 地域と産業政策 | 〔単位数〕 2 単位 | 〔科目区分〕 選択 |
| 〔担当者〕 安田公治 | 〔オフィス・アワー〕 時間: 別途告知する 場所: 1212 | 〔授業の方法〕 講義 |
| 〔科目の概要〕 本科目では地域における産業政策に対して、青森県と他地域の産業構造を比較したうえで、どのような政策が望ましいかについて学びます。講義の前半では特に地域とは何かを改めて理解し、地域における雇用・通勤圏、商圏がどのように分布しているか、都市の集積が起こることによるメリットとデメリットなどについて学びます。また独占企業の行動などについてもミクロ経済学の知識にも触れながら説明を行い、独占や寡占を考えるうえで企業が市場に与える影響力をどのように測るのかについても説明します。後半では産業連関表の見方を知り、それをもとに地域の基盤産業が何であるのかの見分け方も学びます。 | | |
| 〔「授業科目群」・他の科目との関連付け〕・〔なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつくか〕 地域における雇用・通勤圏、商圏などの実際に経済活動が行われる範囲は必ずしも、都道府県、市町村などの自治体の行政区画と一致しません。経済活動が行われる圏域と行政区画の違いを無視して産業政策がなされると、実態と合っていない誤った政策となってしまう可能性があります。地域の産業政策を考えるうえでは、このような地域や都市の構造を把握することが重要となります。本科目では地域や都市の構造の違いを知り、適切な産業政策は何かを学びます。また地域の発展にはお金を稼げる産業である基盤産業の育成が大事になりますが、何が基盤産業となるかの判断基準の1つとして産業連関表を用います。特に後半では産業連関表から基盤産業を判断できるように講義を行います。 | | |
| 〔科目の到達目標(最終目標・中間目標)〕 中間目標:地域や都市の空間的な構造を理解する。 最終目標:異なる地域の構造に対して、適切な産業や政策を判断できるようにする。 | | |
| 〔学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫〕 「一方通行であったので途中で理解しているかの確認をしてほしい。」という指摘について。今後特に途中で質問等を行い、双方向の授業を心がけます。 | | |
| 〔教科書〕 指定しない | | |
| 〔指定図書〕 指定しない | | |
| 〔参考書〕 講義内で必要に応じて紹介 | | |
| 〔前提科目〕 特になし | | |
| 〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等) 中間試験(配点 30%) 期末試験(配点 70%) ・出席状況 講義のうち 5 回欠席したものは、レポート・試験の点数にかかわらず F 評価とします。 | | |

| | |
|---|--|
| <p>〔評価の基準及びスケール〕</p> <p>A:80%以上 B:70～79% C:60～69% D:50～59% F:50%未満</p> | |
| <p>〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕</p> <p>地域経済や地域の産業を理解するうえでは1地域のみに目を向けては十分な理解を得られません。講義では青森県や青森市の事例も扱いますが、東北だけではなく全国の様々な地域や都市の構造に目を向けて、地域や産業間のつながりを理解するように心がけてください。 また講義内でランダムに質問をしますので、自分自身で考えて回答することを意識してください。</p> | |
| <p>〔実務経歴〕</p> <p>該当なし</p> | |
| <p>授業スケジュール</p> | |
| 第1回 | <p>テーマ(何を学ぶか): 地域とは何か 内 容: 地域区分、都市圏・商圈</p> <p>教科書・指定図書</p> |
| 第2回 | <p>テーマ(何を学ぶか): 都市化の概念とプロセス 内 容: 都市の形成、人口変動</p> <p>教科書・指定図書</p> |
| 第3回 | <p>テーマ(何を学ぶか): 都市集積の経済 内 容: 都市集積のメリット、デメリット</p> <p>教科書・指定図書</p> |
| 第4回 | <p>テーマ(何を学ぶか): 都市内部の土地利用 内 容: 都市内部の企業、オフィス、住宅の立地がどのように決まるか。付け値地代理論。</p> <p>教科書・指定図書</p> |
| 第5回 | <p>テーマ(何を学ぶか): 都市計画 内 容: 少子高齢化、都市計画マスタープラン、コンパクトシティ、移住促進政策</p> <p>教科書・指定図書</p> |
| 第6回 | <p>テーマ(何を学ぶか): 私的独占(1) 内 容: 自然独占、私的独占、市場支配力</p> <p>教科書・指定図書</p> |
| 第7回 | <p>テーマ(何を学ぶか): 私的独占(2) 内 容: 代替財、市場画定</p> <p>教科書・指定図書</p> |
| 第8回 | <p>中間試験</p> |

| | |
|------|---|
| 第9回 | <p>テーマ(何を学ぶか):規制緩和と交通政策 内 容:規制緩和・民営化、公共交通</p> <p>教科書・指定図書</p> |
| 第10回 | <p>テーマ(何を学ぶか):農業とICT化 内 容:地域の農業政策、既存産業へのICTの活用</p> <p>教科書・指定図書</p> |
| 第11回 | <p>テーマ(何を学ぶか):垂直的統合と6次産業化 内 容:垂直的統合、農業の6次産業化、マーケティング</p> <p>教科書・指定図書</p> |
| 第12回 | <p>テーマ(何を学ぶか):21世紀以降の産業政策 内 容:産業クラスター政策、官民連携</p> <p>教科書・指定図書</p> |
| 第13回 | <p>テーマ(何を学ぶか):まちの経済の成り立ち 内 容:中間財・最終財、地域経済の循環と漏れ</p> <p>教科書・指定図書</p> |
| 第14回 | <p>テーマ(何を学ぶか):まちの経済の見方 内 容:基盤産業の見極め、特化係数、産業関連表の作成</p> <p>教科書・指定図書</p> |
| 第15回 | <p>テーマ(何を学ぶか):まちの構造改革 内 容:実際の産業関連表を見て地域の問題を理解する。</p> <p>教科書・指定図書</p> |
| 試験 | <p>筆記試験(配点70%、講義資料・自筆ノートのみ持ち込み可)</p> |